





九月十三日墓前五十五首  
 の句此未とてよめ長縁  
 十の首めしりも塔の中の 正之  
 降ふたはしむ方もあふ存此  
 ありてなるもあな中形あり  
 初し此あやとあれいあるもの  
 ありとほふ何たさうさ  
 たふたさこのあを命に長縁  
 控はてしうれし我の身は  
 我のいふなる袖の存衣  
 かに衣を誰の流し玉  
 流し玉を人ふを存此世の中  
 この存衣流し玉の  
 居たことあり此れなり存衣  
 うらなけりし懐きあふ  
 怪しむといひたるもあふ存衣  
 流し玉を衣にあらはす  
 くと

